



散歩に行くと住宅の庭先のあじさいが咲き始めており、梅雨入りがいつか気になる時期になりました。蒸し暑かったと思えば急に肌寒かったり…。気まぐれな天気にならず健康に過ごしたいですね。

先日「谷川俊太郎 絵本★百貨店」という企画展に行ってきました。詩人である谷川さんが絵を描く作家や、写真家と共に作ってきた絵本の面白さにフォーカスし、2024年から全国の美術館を巡回しているこの展覧会。実際に絵本を手にとれるだけでなく、原画やオブジェ、巨大絵巻物や映像が展示されていました。保育士という職業柄触れる機会が多いことあるとは思いますが、絵本を読むことが好きです。驚きやときめき、面白さや安心感…。絵や言葉を通じて絵本からのメッセージを自分なりに受け取る時間は、一言では言い表せない心を動かされる体験に溢れていると感じます。

絵本の世界から飛び出してきたような展示物の一つに『もこもこ』のアニメーションを壁に大きく映写しているコーナーがあり、2歳くらいの子どもが立ち止まり“瞬き忘れている？”と思うくらいじっと見つめている場面に出くわしました。不思議な形やオノマトペの表現に夢中になっているその横顔が微笑ましく、絵本のもつ魅力を再確認しました。

読み親しんだ絵本もあれば、初めて知る絵本も多く展示されている中で、『ぼく』という作品が印象に残っています。淡い色と繊細な線で描かれた表紙に惹かれ手に取りました。読み進めていく中で“絵が綺麗な” “静かで丁寧な印象だな”とさまざまな感想を抱きながらも、読み終えて率直に感じたことは“この難しい内容、子どもは何をどう感じるのかな…”

『ぼく』は子ども向けに“自分の命”をテーマにした絵本で、構想を練り始めて世に出るまで2年以上かかったそうです。命について表現することで、読み手はどう受けとり、何を考えるのか…。谷川さんがどう表現するのか考えに考えを重ねた結果が出版までの年月だったのです。私の中で創作物である絵本の表現は、どこまでも自由という印象が大きかったのですが、あらゆる可能性を想定し読み手一人ひとりに思いを馳せて形となり、私たちのところまで届くのだと実感しました。

5月の懇談会で、クラスで大切にしている関わりとして“言葉を手渡すこと”について保護者の方々にお伝えしました。離れたところから大きな声で投げかけるのではなく、その子の傍に行きその子に聞こえる大きさで伝えたいと思っています。先日の園庭遊びでの出来事です。れんげ組のYさんが地面に砂場用シャベル落ちているのを見つけると、当たり前のように拾いカゴに片付ける姿を見かけました。Yさんの隣にしゃがんで「気が付いて片付けてくれてありがとう」と声を掛けると、こちらを振り返り徐々に笑顔になっていくYさん。そして「こっち」と私の手を取って駆け出し遊びに誘ってくれました。このとき、手渡した言葉を受け取ってもらえた喜びを私自身強く感じたことをよく覚えています。言葉は単に単語としての意味を示すだけのものではなく、発する人の表情や声のトーン、大きさ/受け取る人の状況や心情、お互いの関係性…。様々な要素を含んで相手に伝わるものだと思います。思ったように表現できなかつたり、意図と違う伝わり方になったり、スムーズにいかない難しさももちろんありますが、言葉を手渡す/手渡される経験を通して、一人の人間として尊重されている実感を得てほしいと願っています。谷川さんが表現する中で大切にされたことはもしかして同じ思いだったのではないかな…と思いを馳せながら、日々子どもたちと過ごしていきたいと思っています。

〈記:れんげ組 古川 蘭〉

【おすすめ】



学生の頃に観ていたドラマを改めて観返すことです！高校の友だちと集まって『花ざかりの君たちへ』を観たら懐かしさで大盛り上がりでした。今リメイクするなら誰を起用するかという謎のプロデューサー目線でのキャスティング会議も白熱しました。

①保育士をしていなかったら何の職業についていた？

好きなものに囲まれて仕事ができたら素敵だと思うので、書店(クレヨンハウス)かレコードショップで働いてみたいです！どこに何があるのか覚えるまでてんやわんやしそうですが、好きなものためにきつと頑張れるはずです…！

②好きなキャラクターは？

たくさんいるのですが、最近はパペットスンスンに夢中です。スンスングッズが我が家に着実に増えています♪

③今まで食べた中で一番美味しかったものは？

富山市にあるお寿司屋さん『寿司栄』のイカゲソの握り(炙り)です！タレと塩選べるのですが圧倒的タレ派です。家族が住んでいるため年に数回富山に行くのですが、必ずここのお寿司屋さんに行くことに決めています！